



こんにちは ひぐち英明です

349号 2019年1月20日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel 761-6341
左京生活相談所 Tel 781-6622

ホームページ：

敬老乗車証の改悪ストップ！ 市民集会開かれる



敬老乗車証の改悪をやめさせようと市民集会が開かれました。これまでに署名は4万人以上の方に協力いただいていることなどが報告されました。



花背峠は年末も倒木が放置されそこに雪が積もっていました

急がれますが、そもそも、災害の未然防止策としての、山林の保全対策に行政が責任を持つ必要があります。ヨーロッパでは、中山間地に住むことそのものが環境の保全に有効という考え

は、倒木による停電、道路の通行止め、家屋の損壊など、大変な被害が発生しました。花背峠などでは、道路は通れるものの、その横

の斜面には大量の倒木がそのまま放置されています。また、年末の大雪の際には、弱っていた木が倒れ、数時間ではありましたが再度停電になっています。

林業支援から山林の保全対策への発展へ

災害の未然防止策の拡充を

方のもと、林業や農業に携わる方に所得補償を行っているとのこと。そこまですべて一足飛びに行かなくても、道路際や民家際の木の伐採に補助を出す、倒木の処理に補助を出すなどの支援策を早急に具体化することが求められています。

■林業支援から山林の保全対策へ

現在の制度は、林業支援としての補助制度なので、木を伐採する

だけでなく、植林をすることまで行うことを前提にしています。しかし、なりわいとして行うには木材の値段が安すぎるため、補助が出ても採算が取れず、

山林が放置されているのが実態です。

林業支援という考えから山林の保全対策という考え方への発展が求められています。

音羽川上流調査のフィールドワーク

山腹崩壊の危険も指摘される

修学院の音羽川上流



山腹崩壊の危険が指摘された斜面

のえん堤の調査のフィールドワークを行いました。河川や地質の専門家の先生方に解説していただきながらの調査です。

沈砂池は土砂が溜まったらその都度土砂を浚渫する必要がありますけれども、砂防えん堤は土砂がたい積していても、土石流をくい止めることはできる、とい

うたお話を現場を見ながら聞くことができました。また、地質と樹木の生え方から、大規模に山腹崩壊を起こしそうな箇所があることが指摘されました。これは重大な事実と考えます。

今後、どのような対策が考えられるのか、引き続き、調査が必要と感じました。

写真トピックス

「防災シンポジウム



↑上高野 府市政報写真



ひぐち英明

ホッと・コム

com.

妻が次女(中学2年生)に「お母さん、また電気つけっぱなしやで」と叱られていました。すると妻が、「仕方ないやろ。あなたのお母さんなんだから」と言い返していました。

どっちもどっちというのはその通りです。ただ、一般的には「この親にしてこの子あり」ですから、親と子どもの順番が逆だとは思いましたが・・・その場で口にするのはやめておきました。

さて、子どもの医療費の中学校卒業までの無料化は、府市が協力すれば市の負担は年間9億円で見込めます。しかし市長は「財政が厳しい」と言って頑なに拒否しています。一方で、京都市の負担が数千億円にもなるかという北陸新幹線の延伸工事は推進、総事業費が1200億円と言われている堀川通地下バイパストンネル計画も推進するとしています。大企業が儲かる大型事業は推進、市民の暮らしの支援は後回し、という方針は、安倍政権の政治をそのまま京都市に持ち込むものです。

自民党と公明党にかつがれている市長ですから、仕方がないと言えはそれまでですが、だからと言ってこんな政治を続けさせるわけには行けません。大型事業優先の政治から市民の暮らし優先の政治への転換を図る年にするために、多くのみなさんと力を合わせて行きたいと思えます。